



## 令和3年度畜産物価格等に関する養鶏団体の要請について

令和2年12月2日、自民党畜産・酪農対策委員会（伊東良孝委員長）が自民党本部で開催され、4日には自由民主党畜産振興議員連盟総会（野田毅会長）がキャピトルホテル東急で開催されました。

日本養鶏協会の齋藤会長は、令和3年度の畜産物価格等に関する要請について、鶏卵業界を代表して要請書（別添）を提出するとともに、今般の高病原性鳥インフルエンザの発生に鑑み、自民党に以下の要望を力強く訴えました。

1. 国としてできる最高レベルの防疫措置を徹底し、これ以上の病気の蔓延を抑え込むこと。
2. 防疫措置の徹底のため生産者が整備する防疫用資材等（防鳥ネットや消石灰等）の予算措置を図ること。
3. 高病原性鳥インフルエンザの更なる発生に備えて、家畜防疫互助事業の国の追加助成を検討すること。
4. 経営安定対策事業の基準価格の決定に当たっては、生産コストに見合い、生産者が希望をもって再生産ができる水準とすること。
5. コロナ禍の影響を克服できるよう、経営継続補助金を拡充し、運転資金の融資枠を拡充し融資条件を緩和すること。

そして最後に、齋藤会長は業界の長として、将来的にひなの生産から卵の販売に至るまで業界全体として適正な需給構造を構築し卵価を安定させる、そのための国の支援を訴えかけました。

以上のような畜産物価格等に係る一連の活動の後、その締めくくりとして、12月9日に、畜産・酪農対策委員会による令和3年度の畜産物価格等の決定報告が自民党本部であり、補填基準価格は181円/kg、安定基準価格は159円/kgと報告されました。



(別添)

## 令和3年度 畜産物価格等に関する要請

一般社団法人 日本養鶏協会  
会長 齋藤 利明

我が国の養鶏産業の振興につきましては、日頃より格別のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

卵価についてはコロナ禍の影響により鶏卵の需給は極めて厳しい状況にあります。

また高病原性鳥インフルエンザ発生の影響で鶏卵生産者の経営が脅かされる事態が生じております。

こうしたことを踏まえ、来年度の基準価格決定を含め畜産政策の策定に当たりましては、以下の点について特段のご配慮をお願いします。

1. 鶏卵生産者経営安定対策事業については、鶏卵生産者の経営安定を担保したうえで、鶏卵需給の安定を図り、成鶏更新・空舎延長事業の事業効果が発揮できるよう必要かつ十分な予算を確保すること。
2. 鶏卵生産者経営安定対策事業に係る基準価格の決定に当たっては、近年の卵価動向を踏まえつつ、生産コストに見合った鶏卵の再生産が可能な水準とすること。
3. 高病原性鳥インフルエンザの蔓延を抑えるとともに、防疫措置徹底のため生産者が整備する防疫用資材等（防鳥ネット等）の予算措置を図ること。
4. 畜産クラスター事業等競争力強化に係る事業において、鶏卵の需給に配慮し、増羽を抑制しつつ、引き続き、中小規模生産者にも使い勝手がよい事業とすること。
5. コロナ禍の影響を克服できるよう、経営継続補助金を拡充するとともに、運転資金対策の融資枠を拡充し、融資条件を緩和すること。
6. 将来的に卵価の安定を目指すため、採卵鶏の雛の需給情報を提供する体制の整備を検討すること。